

はたらいて、
笑おう。



株主・投資家の皆様へ

株主通信

2018年3月期第2四半期のご報告

2017年4月1日～2017年9月30日

パーソルホールディングス
(証券コード：2181)

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

| ■お手続き、ご照会などの内容 | ■お問合せ先 | |
|---|----------------------------|---|
| ○郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| ○住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会 | 口座を開設されている証券会社などにお問合せください。 | |

特別口座に記録された株式

| ■お手続き、ご照会などの内容 | ■お問合せ先 | |
|--|----------------|---|
| ○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名などのご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*) | 特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| ○郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 | [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード ▶ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ |

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは? 日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。



東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインズタワー TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。



この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



人と組織の成長創造インフラへ

PROFILE
代表取締役社長 CEO
水田 正道

1988年テンプスタッフ(現パーソルテンプスタッフ)入社。
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。
2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協議会理事長を歴任。
座右の銘は積小為大。

当期の概況

日本経済が穏やかな回復を続ける中、雇用情勢は引き続き好調に推移しており、人材ビジネス業界においても需要が拡大しています。こうした環境のもと、当社グループは積極的な事業推進に取り組む一方で、新ブランド「PERSONOL(パーソル)」の認知拡大やグループ一体化に向けた投資を行った結果、第2四半期の売上高は過去最高となる3,247億円となった一方、営業利益は160億円となりました。

今後へ向けて

当社は株主の皆様のご賛同を頂き、2017年7月1日より「パーソルホールディングス(株)」として新たなスタートを切りました。

昨今、テクノロジーの進化により、雇用を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。在宅ワーク／モバイルワーク／サテライトオフィス勤務といったテレワークの取り組みが多くの企業で着手されている一方、Aーやロボットの活用などにより既存の仕事の一部は将来不要となることも予想されています。企業にとって必要な人材像が絶えず変化し、従来の終身雇用のもとでは、これまで以上に雇用のミスマッチが生じるでしょう。働く人にとっては本当に必要とされる場で活躍することこそが幸せであり、当社グループはそれを叶えるために、「ミスマッチの極小化」を追求します。

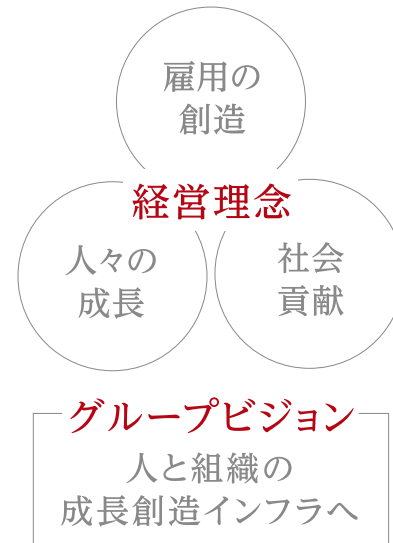
一方、将来にわたり続く労働人口減少の中で雇用を活性化していくためには、働く意欲のある人々へそれぞれの希望に合った働くチャンスを提供することが求められます。《多様な働き方の実現》に取り組むことで、あらゆるライフスタイルの人々が

活躍できるチャンスを増やしていきます。

この《ミスマッチの極小化》と《多様な働き方の実現》には、各事業の連携を通じたグループ総合力の発揮が必須であると考えています。当社も含め、主要な事業会社の社名に「PERSONOL(パーソル)」を冠し、グループ一体としての認知度を高め、さらなるグループシナジーの創出により労働・雇用に関わるあらゆる課題の解決に取り組んでいきます。

アジア・パシフィック地域の「成長創造インフラ」を目指して

当社は昨年、ケリーサービス社(※1)との合併事業をAPAC全域に拡大しました。同地域の事業強化を目指し2017年7月、豪州人材サービス・メンテナンス会社であるプログラムド社(※2)の株式の100%取得を決定しました。APACで大きな割合を占める豪州マーケットで優位な地位を獲得することで、APACにおけるプレゼンスをいっそう高めていくとともに、同地域の労働市場の発展に寄与していきたいと考えています。

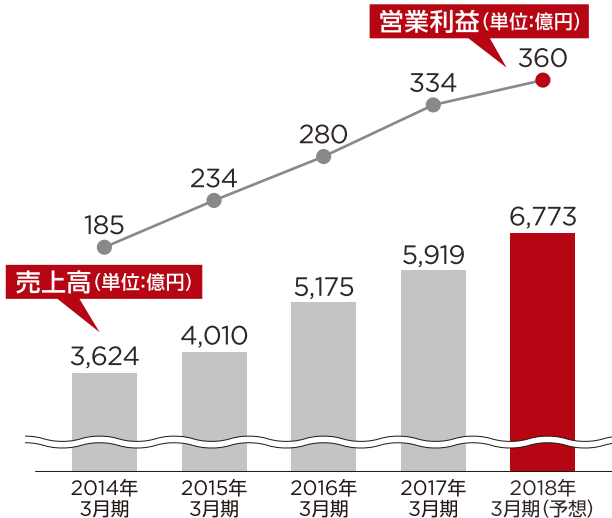


※1: Kelly Services, Inc.
※2: Programmed Maintenance Services Limited

業績ハイライト 《2018年3月期第2四半期 連結累計業績》

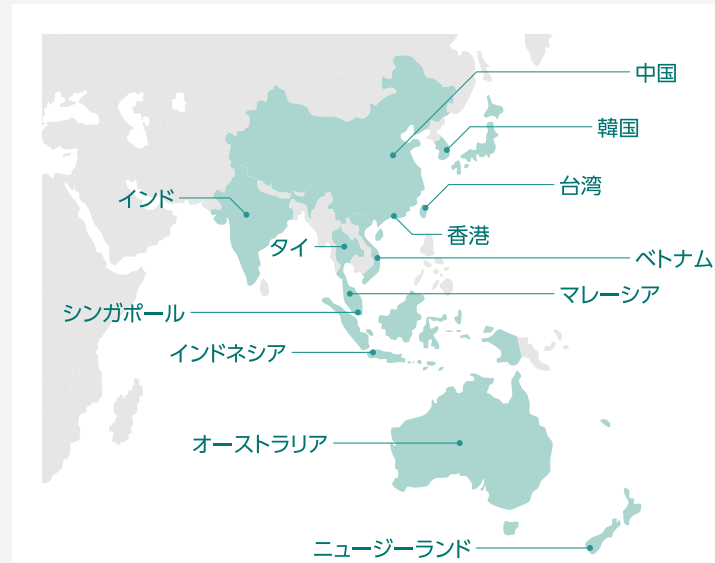
売上高は過去最高、
営業利益は積極投資により
前年同期比で減益

| | |
|---|--|
| 売上高 3,247億円 前年同期比 17.3%増 | 営業利益 160億円 前年同期比 3.9%減 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 92億円 前年同期比 6.5%減 | 1株当たり 中間配当金 9円 |

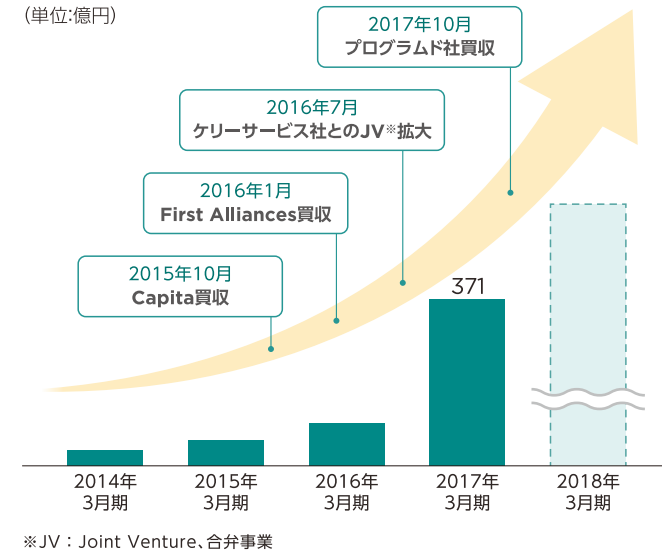


海外における事業展開

展開地域



海外売上高推移



プログラムド社の買収について

2017年3月期売上内訳

Maintenance

巨大規模のメンテナンス、施設・設備管理事業の提供。特に、官民パートナーシップでのインフラ事業、製造業、鉱工業市場で強いプレゼンスを有する。

49% 2,691 百万豪ドル 51%

Staffing

オーストラリア、ニュージーランドにおいて幅広い業種に対して、人材派遣、人材紹介などのサービスを提供。

プログラムド社概要

会社名 Programmed Maintenance Services Limited

本社 Australia, Western Australia



従業員数 合計 25,003人 (2017年6月)
無期社員 1,991人
有期社員(客先常駐) 2,964人
派遣スタッフ 20,048人

拠点数 オーストラリア、ニュージーランドを中心に100拠点以上

事業内容 Staffing事業およびMaintenance事業

豪州人材サービス・メンテナンス事業大手 プログラムド社買収

パーソンルグループは、グループビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」の実現に向け、日本国内に加え、APACにおける事業拡大を重点施策の一つとして推進しています。こうした中、2017年7月に豪州を中心に人材サービス事業およびメンテナンス事業を行うプログラムド社の株式100%取得を決定しました。

プログラムド社は、1951年に塗装サービス企業として創業し、その後、設備・機器メンテナンス領域に事業を拡大。現在は人材派遣、人材紹介を主軸とするスタッフィング事業と、商業施設・学校などの施設管理、塗装・用地整備、鉱山施設メンテナンス事業を主軸とするメンテナンス事業の二つを柱として事業展開しています。今回の株式取得により、パーソンルグループはオーストラリアにおける規模・実績ともに強固な事業基盤を活かした事業展開が可能となり、APACで最大級の総合人材サービスグループとなります。

海外における事業展開

パーソンルグループの海外事業は、初の海外拠点として1993年に香港支店を開設したことに始まります。その後中国、韓国などに拠点を開設。そして2010年には米国の大手人材サービス企業ケリーサービス社と戦略的業務提携を開始しました。同社とは2012年、北アジア地域における合併事業を開始、2016年からは合併事業をAPAC全域に拡大しています。さらにシンガポール、ベトナムの人材サービス企業の株式取得などによる事業規模の拡大もあり、現在では成長著しい同地域の人材サービス市場において採用支援、人材派遣、人事労務コンサルティングなどを展開する、主要プレイヤーの一角をなす存在となっています。

APACは、まだまだ新たな需要や市場成長が見込まれる地域です。パーソンルグループは、今後の企業展開に備えたインフラの整備や体制構築を通じて事業基盤を強化し、プレゼンスを高めることで、APACの「成長創造インフラ」を目指します。

働き方改革に向けた
パーソルグループの取り組み

(株)パーソル総合研究所発行
HITO REPORT



「パーソルファシリティマネジメント(株)」
設立



これまでパーソルグループ内のファシリティマネジメント機能として蓄積したノウハウを活用し、企業のワークスタイル/ワークプレースの変革を促進

パーソルグループは、事業を通じ労働・雇用の課題解決に取り組んでいます

「障がい者雇用促進
クラウド型名刺管理サービス」



障がい者の雇用拡大を実現するクラウド型名刺管理サービスを提供。自社開発の名刺管理システムの導入により、名刺データ入力など、障がいを持つ方が対応できる業務を創出。さまざまな障がいを持つ方でも業務遂行ができるよう、業務フローの確立やトレーニング・マネジメントに関するコンサルティングも実施することで、企業が抱える障がい者雇用に関する課題を解決します。



育休中ワーキングマザーの
キャリア支援
「ママボラン」

育児休業中のワーキングマザーに対し、ベンチャー企業やNPO法人のボランティア情報を紹介。仕事と育児の両立を経験してもらうことで、復職後の働き方をイメージできるだけでなく、育休中の孤独感やキャリア形成に対する不安を払拭し、自信を持って復職を迎えられるよう支援します。

東京都
「平成29年度 テレワーク等普及推進事業」運営に参画

東京都が国と連携し設立した「東京テレワーク推進センター」の運営をパーソルグループが受託。働き方の柔軟性を高めるテレワークの導入を検討する中小企業に対し、情報提供や専門コンシェルジュによる相談サービスなどをワンストップで実施することで、「働き方改革」の推進に貢献します。



現在、人手不足が大きな社会問題となつています。パーソルグループの総合研究機関である(株)パーソル総合研究所は、2025年に日本が583万人の人手不足に陥ると推計(※1)しており、その解決には生産性の向上に加え、いかに女性やシニア世代の労働参加率を高めるかがカギになると分析しています。同社では、就労を促す一手としてサテライトオフィスに着目した雇用創出効果の検証(※2)を行っており、これらの研究を踏まえパーソルグループでは、さまざまな切り口から多様な柔軟な働き方の実現に取り組み始めています。

その一環としてこの夏、当社のファシリティ部門を分社化し、これまでにグループ内で培ったファシリティマネジメントの知見を活かしたコンサルティングや新たなワークスタイルの提案を行うアドバイザリーサービス事業を開始いたしました。また一方、千葉商工会議所や東京都文京区、東村山市、愛知県名古屋市など自治会との積極的な協業を通じ、各地域の中小企業の人材確保や若年求職者の就業支援、人材マッチングにより企業の枠を超え新たな雇用の創出に取り組んでいます。

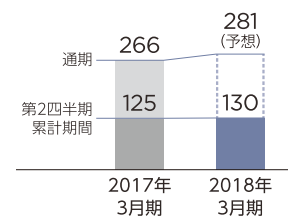
※1：「HITO REPORT vol.1」2016年11月発行 ※2：「HITO REPORT vol.2」2017年8月発行

エンジニアリング

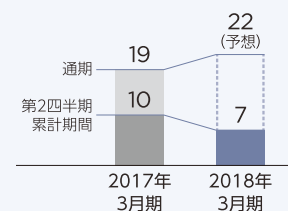
セグメント

当第2四半期連結累計期間は、電機、自動車業界等を中心として人材需要が引き続き強く、売上高は順調に伸びました。利益面においては、不採算案件の発生による一時的な費用増加により、営業利益7億円となりました。

売上高 **4.1%増**
(単位:億円)



営業利益 **29.5%減**
(単位:億円)

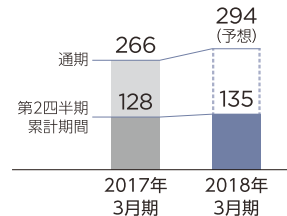


ITO

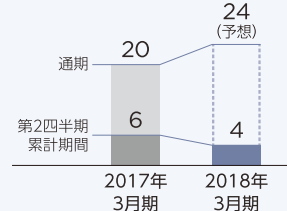
セグメント

顧客企業におけるシステム関連投資やSI関連サービスに対する引き合いは高水準で推移し、また当社グループにおける社内システムの開発等により売上高は順調に伸びました。利益面においては、技術者の退職抑制ならびに新規採用に向けた待遇改善や、本社オフィス増床・環境改善等の費用増加により、営業利益は4億円となりました。

売上高 **5.3%増**
(単位:億円)



営業利益 **29.8%減**
(単位:億円)

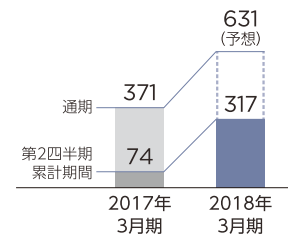


海外

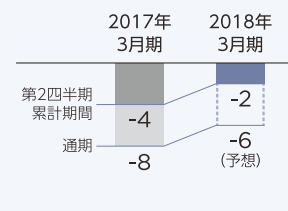
セグメント

Kelly Services, Inc.との合併事業の範囲拡大に伴う業容拡大効果があった結果、売上高は大幅に伸びました。利益面では中期的な事業成長を目的とした体制構築を進めた結果、営業損失は2億円となりました。

売上高 **329.2%増**
(単位:億円)



営業利益 **32.3%減**
(単位:億円)



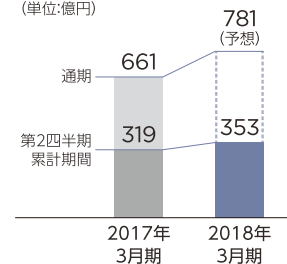
※2018年3月期より海外セグメントを新設しました。

リクルーティング

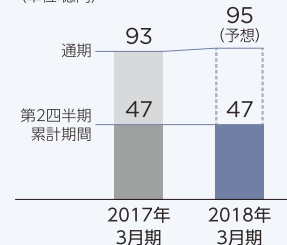
セグメント

旺盛な需要に対して営業体制強化を目的とした人員増強を実施した結果、売上高は大幅に伸びました。利益面では業容拡大に伴う人件費・プロモーション費用等の増加により、営業利益は47億円となりました。

売上高 **10.4%増**
(単位:億円)



営業利益 **0.7%減**
(単位:億円)

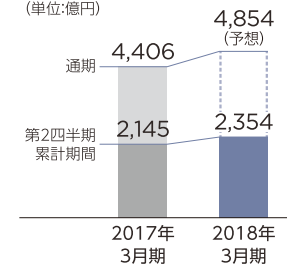


派遣・BPO

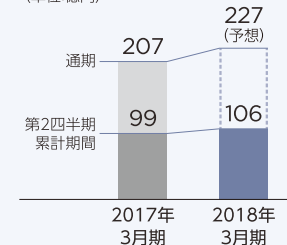
セグメント

前年度に引き続き雇用関連指標が高水準で推移し、それに伴う慢性的な人手不足から、需要は堅調に推移いたしました。また、需要に対応すべく様々な形で供給施策等を講じたことが奏功し、売上高は大幅に伸びました。利益面においては、業容拡大に伴う人件費の増加や当社グループの派遣労働者及び従業員の社会保険料にかかる会社負担分の増加等がありましたが、売上高の増加が大きく、営業利益は106億円となりました。

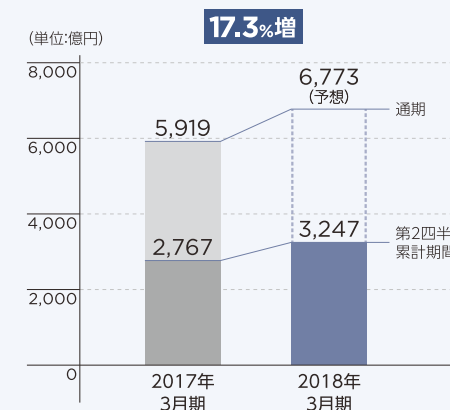
売上高 **9.8%増**
(単位:億円)



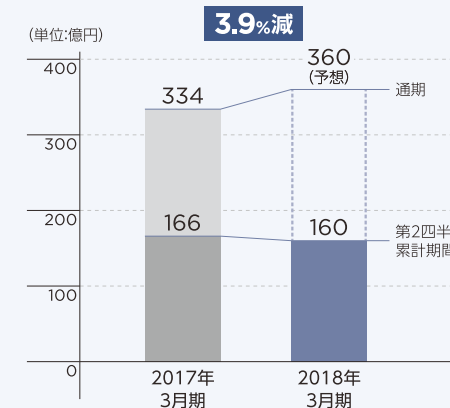
営業利益 **7.5%増**
(単位:億円)



売上高



営業利益

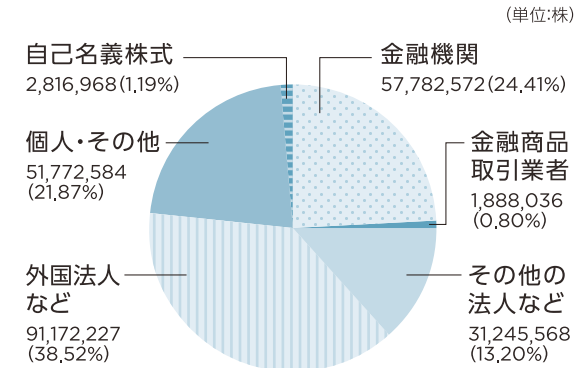


日本経済が回復基調となるなか、前年度に引き続き人手不足を背景とした多くの需要が寄せられ、人材サービス市場は全体として拡大傾向で推移しました。良好な市場環境を背景に、当社グループにおいても主力事業である人材派遣については稼働者数が高水準で推移し、人材紹介については転職決定人数が大幅に増加しました。また、海外におけるM&Aを通じた事業拡大に取り組んだ結果、当第2四半期累計期間の売上高は、3,247億円(前年同期比17.3%増)となりました。

主力事業である派遣・BPO、リクルーティングセグメントを中心に売上高が伸びましたが、積極的な事業推進に向けた各セグメントでの成長投資や、新ブランド「PERSOL (パーソル)」の認知拡大などグループ一体化に向けた投資を行った結果、営業利益は160億円(前年同期比3.9%減)となりました。

株式所有者別分布状況

(2017年9月30日現在)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

| | |
|---------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) URL http://www.tr.mufg.jp/daikou/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(市場第一部) |
| 公告方法 | 電子公告 公告掲載URL https://www.persol-group.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。) |

株式の状況

(2017年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 …… 720,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 236,677,955株
- 株主数 …… 8,812名
- 大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--------------------------------|------------|---------|
| 篠原欣子 | 26,331,600 | 11.25 |
| 一般財団法人 篠原欣子記念財団 | 15,800,000 | 6.75 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 12,880,400 | 5.50 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 12,702,700 | 5.43 |
| ケリーサービスジャパン 株式会社 | 9,106,800 | 3.89 |
| 篠原よしみ | 5,438,400 | 2.32 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 3,696,000 | 1.58 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5) | 3,329,700 | 1.42 |
| 彌富太郎 | 3,326,400 | 1.42 |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 3,188,100 | 1.36 |

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(233,860,987株)を基準に算出しております。
※持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

会社概要

(2017年9月30日現在)

会社名 パーソルホールディングス株式会社
 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.
 設立 2008年(平成20年)10月1日
 本社 東京都渋谷区代々木2-1-1
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
 資本金 17,467百万円

役員一覧

(2017年9月30日現在)

名誉会長 篠原 欣子
 代表取締役社長 CEO 水田 正道
 取締役副社長 COO 高橋 広敏
 取締役専務執行役員 和田 孝雄
 取締役執行役員 小澤 稔弘
 取締役執行役員 関 喜代司
 社外取締役 Peter W. Quigley
 取締役 嶋崎 広司
 社外取締役 玉越 良介
 社外取締役 進藤 直滋
 社外取締役 西口 尚宏
 執行役員 林 大介
 執行役員 美濃 啓貴
 執行役員 峯尾 太郎
 執行役員 山崎 高之
 執行役員 長井 利仁
 執行役員 宮村 幹夫
 執行役員 高倉 敏之
 執行役員 正木 慎二
 執行役員 木村 和成
 執行役員 瀬野尾 裕

貸借対照表

(単位:億円)

| | 2017年 3月期末 | 2018年3月期 第2四半期末 | 増減額 |
|-----------------|---------------|--------------------|-----|
| 資産 | 2,683 | 2,764 | 80 |
| ① 流動資産 | 1,652 | 1,740 | 87 |
| 現金及び預金 | 694 | 813 | 118 |
| 固定資産 | 1,031 | 1,024 | △7 |
| ② 商標権・のれん | 735 | 703 | △32 |
| 負債 | 1,145 | 1,155 | 9 |
| ③ 流動負債 | 879 | 907 | 28 |
| 1年内返済 予定の借入金 | 50 | 46 | △4 |
| ④ 固定負債 | 266 | 247 | △18 |
| 長期借入金 | 204 | 181 | △23 |
| 純資産 | 1,538 | 1,609 | 70 |
| 自己資本 | 1,391 | 1,457 | 66 |
| 資本金 | 174 | 174 | 0 |
| 資本剰余金 | 201 | 201 | 0 |
| ⑤ 利益剰余金 | 1,024 | 1,095 | 71 |
| 非支配株主持分 | 146 | 151 | 4 |

POINT 1
現金及び預金の増加
受取手形及び
売掛金の減少

POINT 2
償却・為替換算に
よる減少

POINT 3
その他の負債の増加

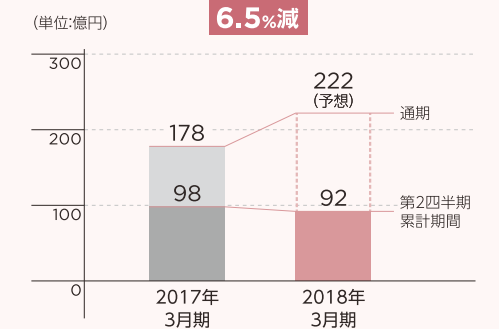
POINT 4
長期借入金の減少

POINT 5
利益増による増加

インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。
 パーソルホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

2018年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益は、利益額の減少により、92億円(前年同期比6.5%減)となりました。



1株当たり配当金

業績は概ね予定通りに推移していることから、2018年3月期第2四半期の配当金は、当初予定をしておりました1株当たり9円と致します。

| | 2017年3月期 | 2018年3月期 |
|------|----------|--------------|
| 中間配当 | 8.00 | 9.00 |
| 期末配当 | 9.00 | 9.00 (予想) |